

【服部】多世代交流の場創出後の機能案について

様々な世代が気軽に集い、賑わい、憩う場で多様な交流が生まれるよう、介護予防センターおよび図書館の空間をバージョンアップします。機能の見直しや新たな機能の追加にあたり、地域の皆様のご意見を伺いながら取組みを進めていきます。

この案については、本日のご意見を踏まえ、条例改正案や予算案などを議会に提案していきます。

フロア	現状の機能	考えられる機能案
3階	デイサービス	民間活力による事業スペース※3
2階	地域包括支援センター	交流スペース※1
	地域福祉活動支援センター	地域福祉活動支援センター
	介護予防センター	地域包括支援センター
1階	図書館	情報ライブラリー※2

※1 交流スペース：談話・趣味活動・自習スペースなど多世代が共有して利用できる空間を想定

※2 情報ライブラリー：キッズスペースを併設

※3 民間活力による事業スペース：地域住民の多世代交流に資する事業を実施（福祉サービスを公募予定）

○想定スケジュール

令和8～9年度

令和8年下半年～

令和10年度上半期

令和10年度以降

現状通り活用

改修設計・多世代交流の場創出に向けたワークショップ、子ども・子育て世帯への意見聴取
工事開始までの間は、可能な限り地域利用を継続

順次リニューアル工事（令和10年度より、一部改修工事予定（閉館部分なし）

※服部図書館は中央図書館の開館にあわせて閉館予定

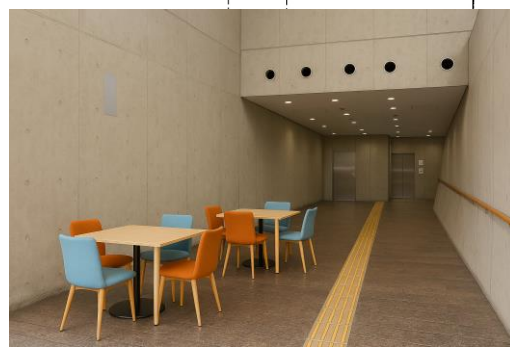
1 階

・情報ライブラリー

入口

・交流スペース

ベビーケアルーム
を設置



2階



キッズスペース

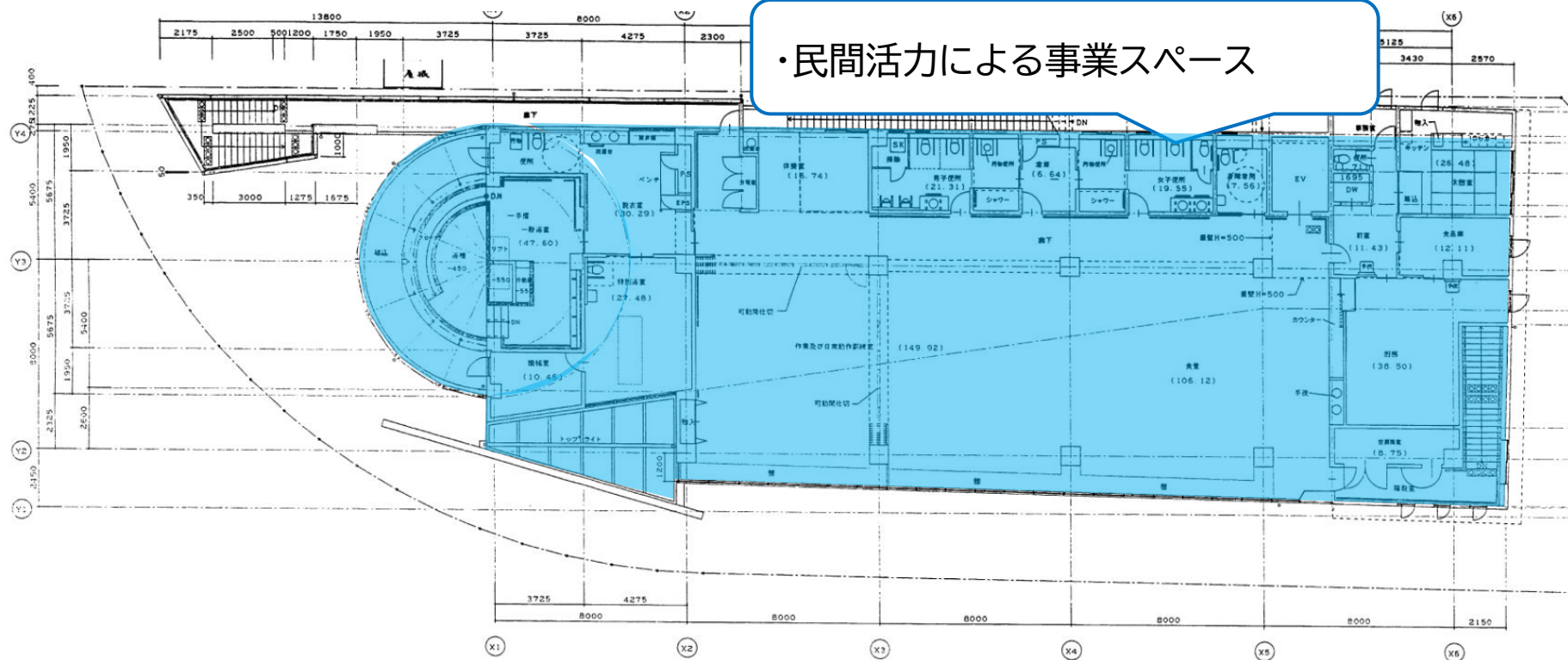
トイレにキッズチェアを設置

・民間活力による事業スペース

・地域包括支援センター

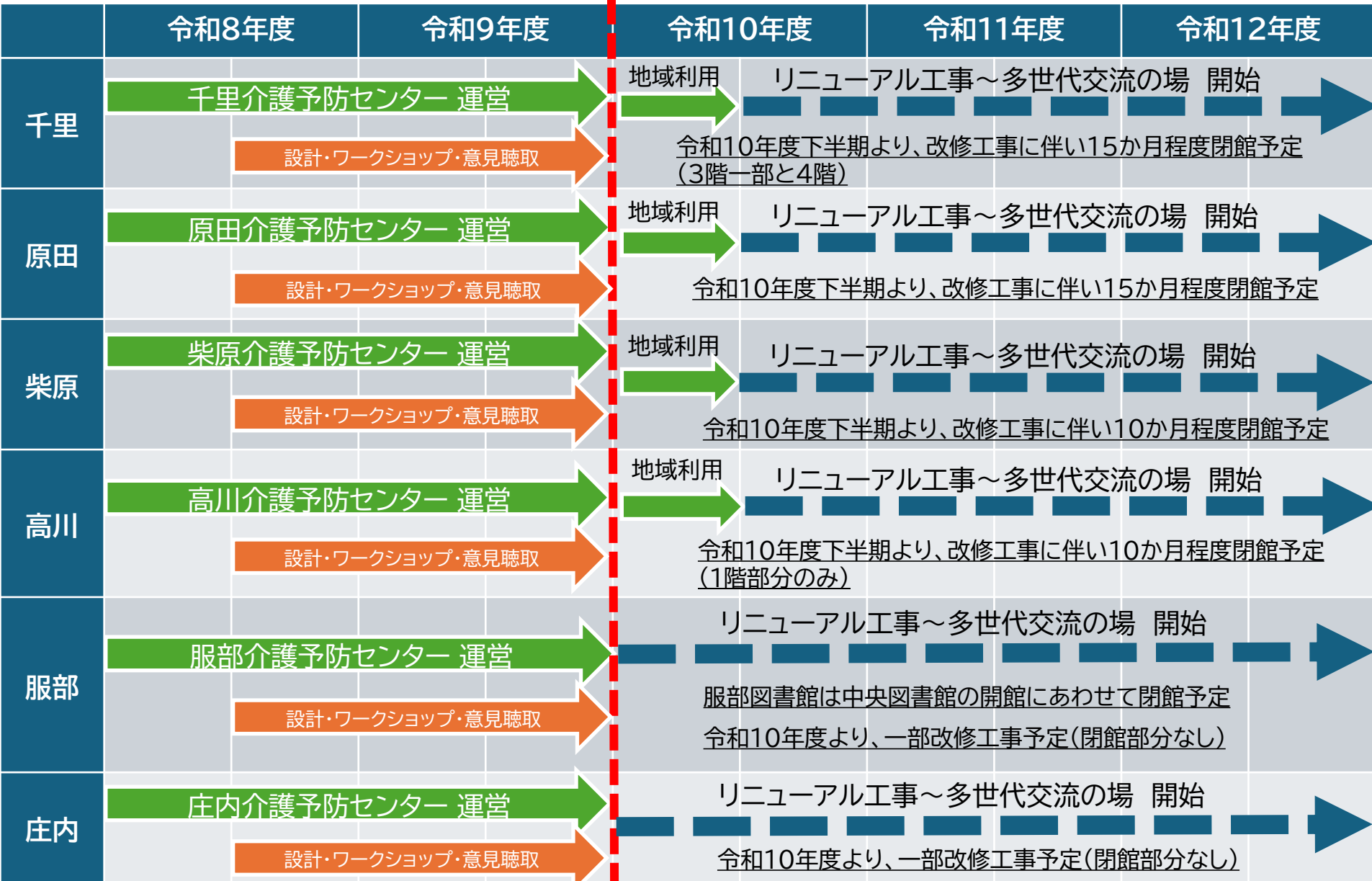
・交流スペース
(地域福祉活動支援センター含む)





スケジュールについて(予定)

5



令和9年度末介護予防センター事業終了

(仮称)アクティブシニア支援事業とは？

本事業案については、説明会でのご意見を踏まえ、今後、議会へ予算案を提出する予定です。

目的

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、学びや交流、多様な活動の機会を提供し、生きがいつくりや社会参加の促進を図ります。

内容

地域につながる
学びの機会

同好会活動支援

高齢者向けデジタ
ルツールの導入

原田・柴原
施設運営・管理

市内公共施設等を活用し
高齢者にとって身近な場所で実施

より多くの高齢者の参加につながるよう
情報発信を強化

地域につながる学びの機会

高齢者の学び・つながりの
アンケート結果より
(n=1944)

- ・学んでみたいこと：「趣味・教養」「健康・介護予防」
- ・参加したい理由：「健康のため」「人と話したい」
- ・参加スタイル：「週1回程度」「少人数」を希望される方が多い
- ・大切な条件：「家からの距離」「興味がある」「費用が少ない」

✓ 関心に応じた多様なプログラム

高齢者の関心が高い「趣味・教養」「健康・介護予防」をテーマに、学びと楽しみを融合した多様なプログラムを提供、初めての人も気軽に参加できる期間設定

✓ 少人数での交流重視

少人数制により参加者同士の交流を促進し、自主性・主体性を重視した活動を展開

✓ 身近な場所で参加できる環境

介護予防センターでの実施に加え、公共施設や民間スペースも活用し、高齢者にとって身近な場所で実施



地域につながる学びの機会

アンケート結果を踏まえ、公募型プロポーザルにより選定した民間事業者の提案に基づき、多様な学びのプログラムを実施していきます。

〔プログラムイメージ〕

●趣味を楽しむプログラム

ボードゲーム入門、eスポーツ体験、読書会、ハンドケア教室など

●地域を楽しむプログラム

ウォーキング×まち歩き、ボランティア体験講座、防災講座など

●暮らしを楽しむプログラム

料理教室、撮影講座、コーヒー講座、アプリの使い方講座など



TOYONAKA CITY

地域につながる学びの機会

地域には高齢者の多様なつながりの場があります。
本事業では、学びから多様なつながりの場へつながるよう支援します。

(仮称) アクティブシニア支援事業 (地域につながる学びの機会)



多様な
つながりの
場

趣味活動

老人クラブ、老人憩の家
公民館登録グループ
各種習い事

ボランティア活動

ボランティアセンター
地域ささえ愛ポイント

介護予防

通いの場
(パワーアップ体操自主グループ)
ぐんぐん元気塾
はつらつ教室
認知症支援教室など

地域活動

民生委員、校区福祉委員、
自治会、公民分館など

就労

シルバー人材センター
豊中・しごとくらしセン
ターハローワークなど



TOYONAKA CITY

同好会活動支援



同好会の声

- ・人数が減ってきている、65歳以下の人にも入って欲しい
- ・介護予防センター廃止後に施設に相談できる人がいないので不安
- ・多世代交流をどうしたらよいかわからない

- ✓ 施設の多機能化により、多世代の参加・入会を促進
- ✓ デジタルツールを活用した周知により、新規会員の参画を拡大
- ✓ 同好会の活動継続や多世代・地域交流を支える相談窓口を設置

※千里・庄内の公民館登録グループはコラボセンター職員にも相談できます。



高齢者向けデジタルツールの導入

広報とよなか等、従来の周知の加え、高齢者が使いやすいデジタルツールの導入を行い、高齢者が必要とする情報を効果的に発信します。

高齢者向けデジタルツールの導入（AIによるイメージ案）



高齢者情報に特化
したLINE
イベントやサービス
などの情報を発信



WEBページへのリンク

原田・柴原 施設運営・管理



高齢者の多世代交流を推進する施設としてリニューアル
施設改修後は（仮称）アクティブシニア支援事業の拠点として活用予定



交流スペース

多世代の人が集うにぎわいの場へ
パワーアップ体操も実施



事業スペース

地域につながる学びの機会を提供



事業スペース

高齢者等が教え手となり
多世代の人が一緒に活動



TOYONAKA CITY